三重大学学生総合支援センターホームページ
http://www.mie-u.ac.jp/life/

発行／平成29年7月
国立大学法人 三重大学

問い合わせ先／学生総合支援センター
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL:059-231-9679

三重大学life click

Center for Student Support

Center for Student Support

三重大学
学生総合支援センター

2016年度
報告書

MIE UNIVERSITY

目次

Ⅰ 学生総合支援センター
・組織図……01
・学生総合支援センター会議　委員名簿……02
・学生委員会　委員名簿……02

Ⅱ 学生生活支援室
・活動報告……03
・奨学生数……05
・学部別外国人留学生数……06
・国籍別外国人留学生数……07
・入学料免除者数……08
・授業料免除者数……09
・学生寄宿舎入寮許可状況……10
・学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険加入者数……11
・第65回東海地区国立大学体育大会成績結果……12
・クラブ・サークル一覧（体育系・文化系）……13

Ⅲ 障がい学生支援室
・活動報告……15

Ⅳ 学生なんでも相談室
・活動報告……17
・学生なんでも相談室ニュースVol.6……19

Ⅴ キャリア支援センター
・活動報告……23
・就職状況……27

Ⅵ SA（スチューデント・アシスタント）
・取り組みを振り返って……29
・キャリア・ピアサポーター資格取得ガイド……30

Ⅰ 学生総合支援センター

平成28年度　学生総合支援センター　組織図

- 学生総合支援センター
  センター長　後藤　太一郎
  （学生総合支援担当副学長）
  - ・学生支援の総合的推進
  - ・センター各施設間の連絡・調整
  - 学生委員会
    - 学生総合支援センター会議
  - 学生生活支援室
    室長　長屋　祐一
    - ・奨学金、入学料・授業料の免除
    - ・課外活動・課外活動施設
    - ・学生寄宿舎
    - ・学生の指導・助言
  - 障がい学生支援室
    室長　菊池　紀彦
    （学生総合支援センター副センター長）
    - ・障がいのある学生の学修・研究支援
    - ・障がいのある学生の所属学部等との連絡・調整
  - 学生なんでも相談室
    室長　鈴木　英一郎
    - ・学生の個人的諸問題の相談
    - ・相談、助言及び指導の調査・研究
    - ・学部等の分室への助言、指導
    - ・ハラスメント対策委員会との連携・調整
    - （各学部等）学生なんでも相談室分室
  - キャリア支援センター
    センター長　中川　正
    （キャリア教育担当学長補佐）
    - ・キャリア教育
    - ・インターンシップ
    - ・就職支援事業
  - 特任教授（教育）　長谷川　岳雄
    講師　後藤　綾文
    - ・キャリア教育
    - ・障がい学生支援
  - SA（スチューデント・アシスタント）
  - 学　務　部
    - 学生サービスチーム
      - ・学生委員会・学生総合支援センター会議の事務
      - ・学生生活支援室に関する事務
      - ・学生なんでも相談室に関する事務
      - ・留学生支援室
        - ・留学生の受入、在籍管理、奨学金
        - ・留学生会館・寄宿舎
        - ・日本人学生の留学
        - ・留学生との交流
    - 就職支援チーム
      - ・キャリア支援センターに関する業務

平成28年度　学生総合支援センター会議　委員名簿

		氏　名	備　考
委員	学生総合支援センター長	後藤　太一郎	議長 学生総合支援担当　副学長
	障がい学生支援室長	菊池　紀彦	副センター長
	学生生活支援室長	長屋　祐一	
	学生なんでも相談室長	鈴木　英一郎	
	キャリア支援センター長	中川　正	
	学務部長	葛西　勇	
	講師	後藤　綾文	
陪席	学生サービス課長	草川　弥生	
	学生サービスチーム副課長	研屋　元弘	
	留学生支援室長	奥山　眞由里	
	就職支援課長	東川　正朗	
	就職支援チーム副課長	髙倉　良男	

平成28年度　学生委員会　委員名簿

		氏　名	備　考
委員	学生総合支援センター長	後藤　太一郎	委員長 学生総合支援担当副学長
	人文学部	井上　稔浩	
	教育学部	宮岡　邦任	
	医学部	成田　有吾	
	工学研究科	岡﨑　隆男	
	生物資源学研究科	取出　伸夫	
	保健管理センター	新保　秀人	
	国際交流センター	吉松　隆夫	
	学生生活支援室	長屋　祐一	
	障がい学生支援室	菊池　紀彦	副委員長
	学生なんでも相談室	鈴木　英一郎	
	キャリア支援センター	中川　正	
	学務部長	葛西　勇	
陪席	学生サービス課長	草川　弥生	
	学生サービスチーム副課長	研屋　元弘	
	留学生支援室長	奥山　眞由里	
	就職支援課長	東川　正朗	
	就職支援チーム副課長	髙倉　良男	

Ⅱ 学生生活支援室

平成28年度　活動報告

1 全学オリエンテーションの開催

新入生を対象としたオリエンテーションを開催し、附属図書館や総合情報処理センター、学生なんでも相談室の利用方法、また、地震・津波等大規模災害時の対応方法、津警察生活安全課による交通マナーの遵守、未成年の飲酒防止、および違法薬物の乱用防止など学生生活を送るうえでの様々な危険を回避するための対応方法についてなど、様々な講話を行った。

2 学生を支援・担当する教職員を対象とした研修会

日本学生支援機構が主催する、学生が抱える様々な悩みや相談に対応する教職員を対象とした学生支援研修会に、教職員などを派遣した。

3 学生向け出張労働相談会の開催

学生の本分である学業とアルバイトをめぐる労働条件確保など様々な問題が増加傾向にあることから、三重労働局雇用環境・均等室の協力を得て、出張労働相談会を開催した。

4 上浜キャンパス自転車登録制の実施

学内外での自転車マナー向上を目指すとともに、違反者に対しては適切な指導を行うことができるようにするため、上浜キャンパスに乗り入れる学生の自転車に登録シールを貼付する自転車乗り入れ登録制を昨年度より引き続き実施した。

5 交通マナー等の向上

近隣の商業施設への無断駐車や、歩行者・自転車の通学マナーなどの問題について、これまで同様、注意喚起及び直接の対面指導という形で指導を実施していたが、今年度は定期的巡回指導、国道23号線江戸橋交差点付近での通学学生への交通指導、また、特に乱雑な駐輪により混雑した状況にあった教養教育校舎周辺区域での駐輪指導を集中的に行うことにより、学生・教職員の協働によるマナー向上の取組により一定の効果を上げることができた。

また、環境ISO学生委員会と共同で学内の放置自転車を回収し、処分を行った。

6 未成年の飲酒等に対する学生指導

未成年飲酒防止を周知徹底のための未成年飲酒防止シールの配布や、毎月定例開催しているクラブ・サークル連絡会において、特に新入生を迎える4、5月、夏季・冬季休業前などに、各クラブ・サークル部員に未成年飲酒防止の指導を依頼した。

7 クラブ・サークル活動関係

毎月クラブ・サークル連絡会を定例開催し、各種注意喚起、連絡を行った。

また、音楽系クラブ・サークルが4月から1月までの授業期間中の毎週水曜日の昼食時に翠陵会館大集会室で「ミニライブ」を17回開催した。

弓道部は5月に開催された第59回東海学生弓道選手権大会において男子団体で優勝した。第60回東海学生弓道秋季リーグ戦女子(1部)において団体準優勝した。

公益社団法人三重こどもわかもの教育財団から照会があり、課外活動団体「つくしんぼサークル」のこども育成活動等をまとめて推薦したところ、平成29年3月17日に財団より表彰を受けた。

8 課外活動施設の改善及び備品等購入助成

＊熱中症対策	第2体育館製氷機設置(1台)
＊第1体育館	水銀灯取替、排煙装置修理、防球ネット修理、バスケットゴール整備
＊第2体育館	火災報知システム等更新、館内ドア改修
＊屋内トレーニング場	玄関屋上修理
＊陸上競技場、野球場、サッカー・ラグビー場、テニスコート等整備	
＊陸上競技場、野球場	除草剤散布
＊グランド周囲等	外灯整備・設置
＊陸上競技場	走高跳びマット購入
＊野球場	内野ベース等修理、バッティングゲージネット取替
＊テニスコート	コート部分修理、漏水修繕、ネット2張
＊ヨット関係	移動用マリンラック、ヨットセール
＊男子合宿所	B・C室畳表替
＊リヤカー	ポート整備
＊翠陵会館	外階段塗装・補修
＊翠陵会館集会室	椅子更新
＊消耗品購入	陸上競技部、水泳部、硬式野球部、アメフト部、ラグビー部、トライアスロン部、管弦楽団、吹奏楽団、ギタークラブ、ギターマンドリンクラブ等

平成28年度　奨学生数

平成29年3月現在

区分 学部等			在学生数	日本学生支援機構			地方公共団体 民間育英団体	合計	在学生に対する百分率
				第一種(無利子)	第二種(有利子)	計			
学部	人文学部		1,232	185	180	365	5	370	30.0%
	教育学部		864	119	139	258	4	262	30.3%
	医学部		1,095	128	139	267	379	646	59.0%
	工学部		1,843	274	263	537	16	553	30.0%
	生物資源学部		1,049	163	143	306	7	313	29.8%
大学院	人文社会科学研究科		36	2	0	2	0	2	5.6%
	教育学研究科		68	11	0	11	0	11	16.2%
	医学系研究科	修士	60	7	1	8	0	8	13.3%
		博士	218	6	0	6	0	6	2.8%
	工学研究科	前期	459	161	10	171	0	171	37.3%
		後期	47	7	0	7	0	7	14.9%
	生物資源学研究科	前期	192	54	9	63	1	64	33.3%
		後期	48	6	0	6	0	6	12.5%
	地域ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ学研究科	前期	22	6	0	6	0	6	27.3%
		後期	19	2	0	2	0	2	10.5%
計			7,252	1,131	884	2,015	412	2,427	33.5%

平成28年度　学部別外国人留学生数 一覧表

平成28年11月1日現在

		人文学部	教育学部	医学部	工学部	生物資源学部	地域イノベーション学研究科	国際交流センター	計
学部	正規	9(6)	9(7)		19(5)				37(18)
	非正規	31(21)	22(16)		14(5)	13(5)		31(22)	111(69)
計		40(27)	31(23)		33(10)	13(5)		31(22)	148(87)
修士	正規	14(8)	8(6)	5(1)	15(1)	33(19)	3(3)		78(38)
	非正規	14(10)	3(3)		7(3)	6(1)			30(17)
計		28(18)	11(9)	5(1)	22(4)	39(20)	3(3)		108(55)
博士	正規			18(9)	11(2)	27(10)	1(1)		57(22)
	非正規								0(0)
計				18(9)	11(2)	27(10)	1(1)		57(22)
合計		68(45)	42(32)	23(10)	66(16)	79(35)	4(4)	31(22)	313(164)

(　)内は、女子を内数で示す。

平成28年度　国籍別外国人留学生数　一覧表

34ケ国・地域	313(164)

平成28年11月1日現在

国・地域			【学部】		【大学院】		【国際交流センター】			計
			正規生	非正規生	正規生	非正規生	日本語・日本文化研修生	日本語研修生	特別聴講生	
アジア	1	中　国	24(9)	46(32)	60(34)	23(14)	1(1)		6(6)	160(96)
	2	インドネシア	1(1)	1(0)	21(12)			1(1)		24(14)
	3	韓　国	6(4)	1(0)	5(2)				6(1)	18(7)
	4	ベトナム	2(1)	1(1)	7(1)				6(5)	16(8)
	5	タイ		5(1)	4(2)	1(1)	1(1)		1(1)	12(6)
	6	台湾		5(3)		2(2)			3(2)	10(7)
	7	バングラデシュ			8(0)					8(0)
	8	アフガニスタン		1(0)	6(0)					7(0)
	9	マレーシア	3(3)	2(1)	1(0)					6(4)
	10	ミャンマー			4(1)					4(1)
	11	フィジー			3(1)					3(1)
	12	モンゴル		2(2)						2(2)
	13	ネパール			2(2)					2(2)
	14	ブルネイ			1(1)					1(1)
	15	カンボジア	1(0)							1(0)
	16	ラオス			1(0)					1(0)
	17	フィリピン			1(1)					1(1)
中東	18	トルコ			1(0)					1(0)
アフリカ	19	エジプト			3(1)					3(1)
	20	ガーナ			2(0)					2(0)
	21	マリ共和国		1(0)						1(0)
	22	ガボン			1(0)					1(0)
	23	ギニア		1(0)						1(0)
	24	ケニア		1(0)						1(0)
	25	ザンビア			1(1)					1(1)
北米	26	米国							1(0)	1(0)
南米	27	ブラジル			1(1)					1(1)
ヨーロッパ	28	ドイツ		7(4)		2(0)	1		1(1)	11(5)
	29	フランス		2(1)	1(0)	2(0)			2(2)	7(3)
	30	スペイン		2(1)						2(1)
	31	ロシア		1(1)						1(1)
	32	セルビア			1(0)					1(0)
	33	スウェーデン		1(0)						1(0)
	34	ウクライナ					1(1)			1(1)
合　計			37(18)	80(47)	135(60)	30(17)	4(3)	1(1)	26(18)	313(164)
			117(65)		165(77)		31(22)			

(　)内は、女子を内数で示す。

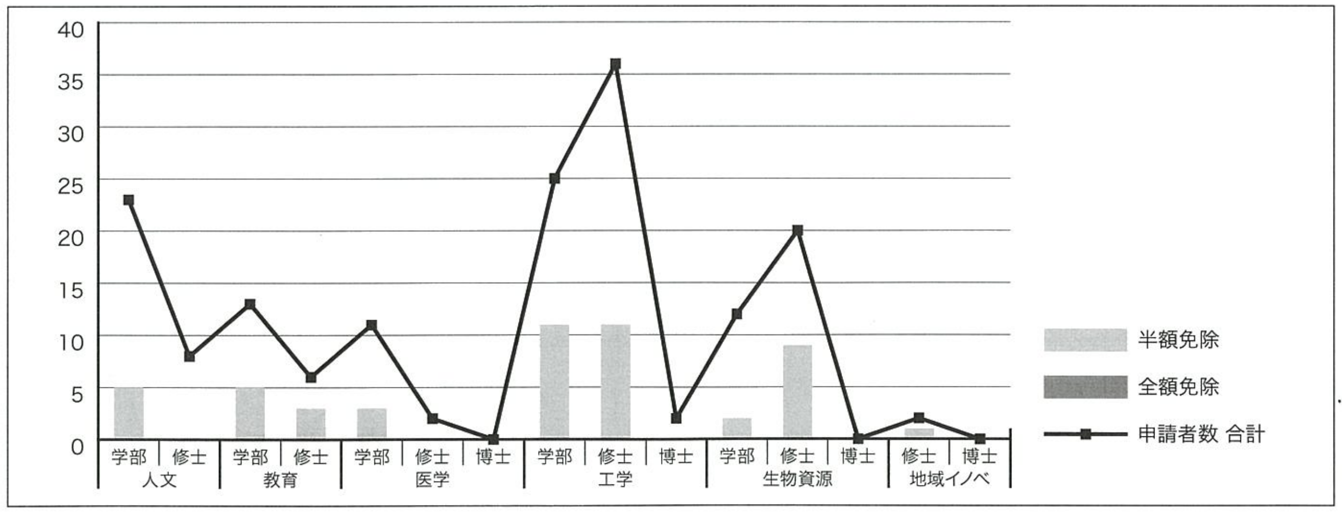
正規生 172(78)	非正規生 141(86)

平成28年度　入学料免除者数(学部・研究科別)

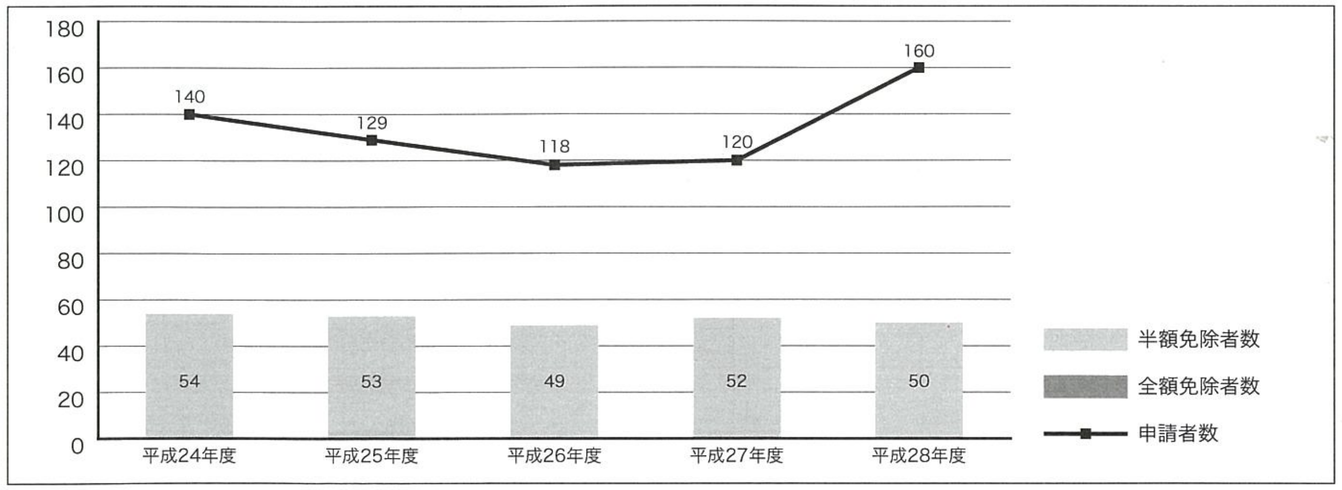
●入学料免除

学部・研究科名		免除申請者数	全額免除	半額免除
人文	学部	123	0	5
	修士	8	0	0
教育	学部	13	0	5
	修士	6	0	3
医学	学部	11	0	3
	修士	2	0	0
	博士	0	0	0
工学	学部	25	0	11
	博士前期	36	0	11
	博士後期	2	0	0
生物資源	学部	12	0	2
	博士前期	20	0	9
	博士後期	0	0	0
地域イノベ	博士前期	2	0	1
	博士後期	0	0	0
合　計		160	0	50

●平成28年度入学料免除者数



●過去5年間の三重大学における授業料免除者数(平成24年～28年)

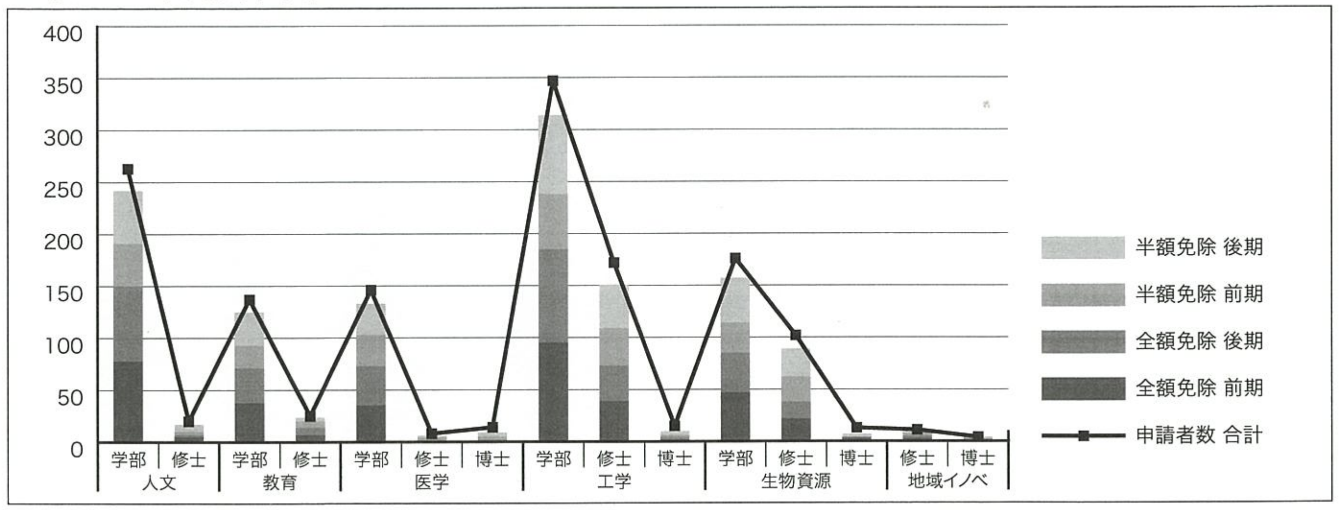


平成28年度　授業料免除者数(学部・研究科別)

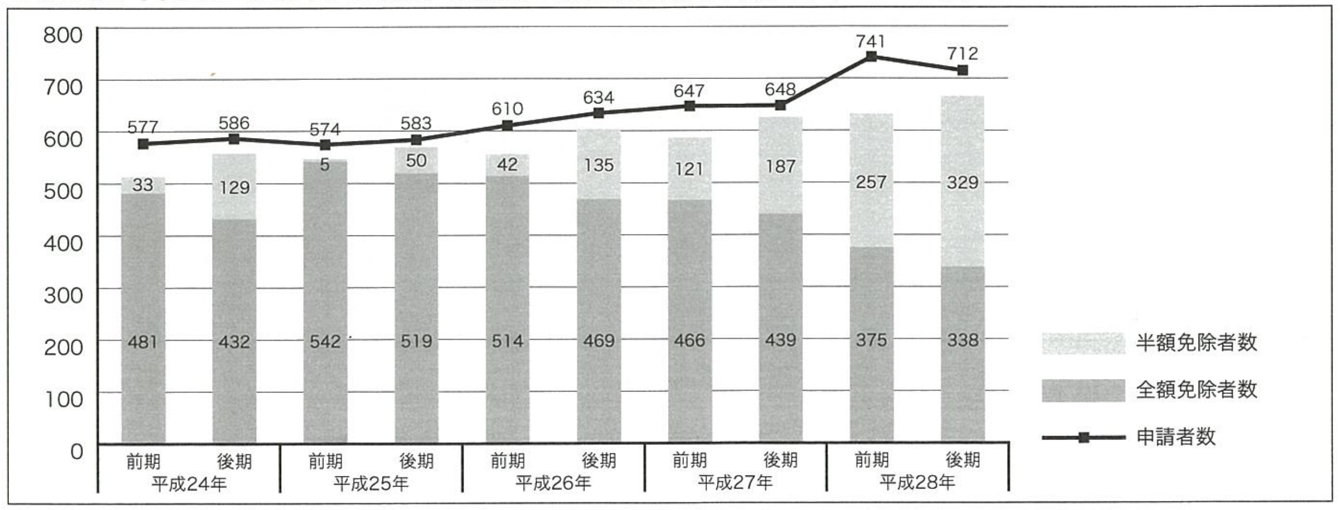
●授業料免除

学部・研究科名		申請者数			全額免除		半額免除		免除者計	
		前期	後期	合計	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文	学部	134	129	263	78	72	41	51	119	123
	修士	11	9	20	5	2	3	7	8	9
教育	学部	68	69	137	38	33	22	32	60	65
	修士	14	11	25	7	7	6	4	13	11
医学	学部	74	72	146	35	38	30	30	65	68
	修士	6	2	8	0	0	4	2	4	2
	博士	6	8	14	0	2	3	4	3	6
工学	学部	170	177	347	95	90	53	76	148	166
	博士前期	91	81	172	39	34	36	42	75	76
	博士後期	8	7	15	2	2	2	4	4	6
生物資源	学部	88	88	176	47	38	29	43	76	81
	博士前期	56	46	102	22	16	24	27	46	43
	博士後期	7	6	13	3	1	0	3	3	4
地域イノベ	博士前期	6	5	11	3	2	3	3	6	5
	博士後期	2	2	4	1	1	1	1	2	2
合　計		741	712	1,453	375	338	257	329	632	667

●平成28年度授業料免除者数



●過去5年間の三重大学における授業料免除者数(平成24年～28年)



入寮許可状況報告書

●男子学生寄宿舎

定員:109名	募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成28年度	54	48	48	

●女子学生寄宿舎

定員:60名	募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成28年度	40	43	40	

●国際女子学生寄宿舎

定員:日本人学生50名 留学生25名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成28年度	日本人学生	23	22	22	
	留学生	25	25	25	

●留学生会館

定員:35室		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成28年度	単身室(30人)	1	2	1	RAFのみ募集
	夫婦室(5室)	2	2	1	

●留学生寄宿舎A棟

定員:49名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成28年度	単身室(17人)	3	3	3	
	4人部屋(32人)	0	0	0	

●留学生寄宿舎B棟

定員:35名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成28年度	単身室(35人)	1	2	1	

●留学生寄宿舎C・D棟

定員:85名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成28年度	単身室(29人)※	9	8	8	
	4人部屋(56人)	9	6	4	内RAF1名

※C棟の留学生用単身室は9部屋。C棟には他に研究者用単身室が6部屋ある。

平成28年度　学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険 加入者数

●学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険

学部・研究科		入学者数	加入者数	加入率
人文学部		303	196	65%
教育学部		211	123	58%
医学部		209	200	96%
工学部		443	357	81%
生物資源学部		258	168	65%
人文社会科学研究科		14	3	21%
教育学研究科		22	14	64%
医学系研究科	(博士課程)	40	23	58%
	(修士課程)	17	12	71%
工学研究科	(博士後期課程)	8	4	50%
	(博士前期課程)	228	163	71%
生物資源学研究科	(博士後期課程)	5	3	60%
	(博士前期課程)	98	70	71%
地域イノベーション学研究科	(博士後期課程)	6	4	67%
	(博士前期課程)	13	7	54%
		1,875	1,347	72%

●学研災付帯学生生活総合保険

学部・研究科		入学者数	加入者数	加入率
人文学部		303	6	2%
教育学部		211	9	4%
医学部		209	30	14%
工学部		443	22	5%
生物資源学部		258	6	2%
人文社会科学研究科		14	0	0%
教育学研究科		22	2	9%
医学系研究科	(博士課程)	40	0	0%
	(修士課程)	17	4	24%
工学研究科	(博士後期課程)	8	0	0%
	(博士前期課程)	228	5	2%
生物資源学研究科	(博士後期課程)	5	1	20%
	(博士前期課程)	98	5	5%
地域イノベーション学研究科	(博士後期課程)	6	0	0%
	(博士前期課程)	13	0	0%
		1,875	90	5%

第65回東海地区国立大学体育大会成績結果一覧

①日時　平成28年5月28日(土)・29日(日)
6月10日(土)・11日(日)、18日(土)・19日(日)、25日(土)・26日(日)
7月2日(土)・3日(日)、9日(土)・10日(日)、18日(月・祝)

②場所　ウェーブスタジアム刈谷他19会場

③幹事大学　豊橋技術科学大学

④成績

(男子)

競技種目 ＼ 大学名		三重大 順位	豊技大 順位	静岡大 順位	浜医大 順位	愛教大 順位	名古屋大 順位	岐阜大 順位	名工大 順位	備考
1	陸上競技	3	7	4	-	1	2	5	6	浜医大不参加(委員会後)
2	水泳	4	7	5	8	3	1	2	6	
3	硬式野球	5	5	1	／	3	3	2	5	3、4位区別無し 5位以下順位無し
4	準硬式野球	3	5	1	5	3	5	5	2	3、4位区別無し 5位以下順位無し
5	硬式テニス	3	5	2	5	5	1	5	4	5位以下順位なし
6	ソフトテニス	4	5	2	5	1	5	3	5	初日雨天中止
7	バスケットボール	4	6	5	／	3	／	2	1	
8	バレーボール	7	8	2	5	1	4	3	6	
9	卓球	2	-	3	／	4	1	5	6	豊技大不参加(委員会後)
10	バドミントン	5	4	1	7	8	3	2	6	
11	サッカー	5	4	-	1	5	3	2	5	静岡大不参加(委員会後)
12	ハンドボール	5	／	6	／	1	3	2	4	
13	柔道	5	-	3	／	4	1	2	／	豊技大不参加(委員会後)
14	剣道	5	5	4	5	1	3	2	5	5位以下順位なし
15	空手道	4	／	3	5	6	1	2	／	
16	弓道	4	5	1	5	／	3	5	2	5位以下順位なし
17	体操	／	／	3	／	-	1	2	-	愛教大、名工大 団体戦不参加(委員会後)
18	馬術	3	／	4	／	4	4	2	1	4位以下順位なし
19	アーチェリー	1	／	3	／	2	5	4	／	
20	少林寺拳法	4	／	2	／	／	1	3	／	
男子順位		5	8	2	7	4	1	3	6	

(女子)

競技種目 ＼ 大学名		三重大 順位	豊技大 順位	静岡大 順位	浜医大 順位	愛教大 順位	名古屋大 順位	岐阜大 順位	名工大 順位	備考
1	陸上競技	3	／	5	7	1	2	4	6	
2	水泳	6	／	4	5	1	3	2	7	
5	硬式テニス	4	／	1	2	3	6	5	／	
6	ソフトテニス	5	／	1	5	4	2	3	5	5位以下順位無し 初日雨天中止
7	バスケットボール	4	5	1	／	3	-	2	／	名工大不参加(委員会後)
8	バレーボール	-	／	3	／	1	4	2	5	三重大不参加(委員会後)
9	卓球	7	／	3	6	5	1	2	4	
10	バドミントン	1	／	3	6	5	4	2	7	
12	ハンドボール	-	／	3	／	1	／	2	／	三重大不参加(委員会後)
13	柔道	／	／	／	／	／	／	／	／	競技中止
14	剣道	4	／	3	5	1	2	-	-	岐阜大、名工大 不参加(委員会後)
15	空手道	1	／	4	2	6	5	3	／	
16	弓道	2	-	3	6	／	1	4	5	豊技大不参加(委員会後)
17	体操	／	／	／	／	／	／	／	／	競技中止
19	アーチェリー	3	／	1	／	2	3	3	／	3位以下順位無し
20	少林寺拳法		／		／	／			／	オープン競技
女子順位			8	1	6	2	4	3	7	

平成28年度　クラブ・サークル一覧

●体育系・全学

平成28年11月30日現在

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	陸上競技部	54	19	73	29	BEANS(テニスサークル)	20	20	40
2	水泳部	29	10	39	30	自動車部	18	0	18
3	硬式野球部	44	4	48	31	トライアスロン部	16	4	20
4	準硬式野球部	24	6	30	32	応援団	31	28	59
5	サッカー部	24	4	28	33	ロボコンクラブM３RC	19	2	21
6	ラクビー部	28	8	36	34	BLUE MARINE(スキンダイビング)	40	20	60
7	アメリカンフットボール部	32	11	43	35	バスケットボール同好会	10	6	16
8	馬術部	9	13	22	36	スキューバダイビングサークル	34	20	54
9	硬式テニス部	18	10	28	37	天狗ぅ(よさこいサークル)	19	30	49
10	ソフトテニス部	33	9	42	38	サイクリングサークル	10	1	11
11	ハンドボール部	26	6	32	39	まいのり(テニス・バトミントン)	11	4	15
12	バレーボール部	14	14	28	40	ラインブレイク(釣り・アウトドア)	22	5	27
13	バスケットボール部	19	11	30	41	蹴る！シューマッハ(サッカー)	63	9	72
14	バトミントン部	17	8	25	42	極津(よさこい)	0	38	38
15	卓球部	27	8	35	43	WILL(テニス)	27	15	42
16	体操競技部	3	3	6	44	合気研究会	3	2	5
17	ダンス部	17	23	40	45	テコンドー部	14	2	16
18	柔道部	3	0	3	46	ハンドボールサークル　FTH	6	9	15
19	剣道部	18	12	30	47	Wild Geese(アウトドア)	84	48	132
20	空手道部	6	3	9	48	日本拳法部	3	4	7
21	少林寺拳法部	7	1	8	49	ジャグリアーノ(ジャグリングサークル、大道芸)	36	15	51
22	合気道部	9	5	14	50	すまっしゅ(卓球)	13	1	14
23	ワンダーフォーゲル部	12	4	16	51	フラメンコサークル　OLE!	3	12	15
24	ゴルフ部	15	1	16	52	合気道・武の道	5	7	12
25	弓道部	12	9	21	53	NEXT(ダンス)	9	19	28
26	洋弓部	14	2	16	54	電気自動車研究会	14	0	14
27	ヨット部	9	5	14	55	アルティメットサークル	5	1	6
28	ボート部(休部)	0	0	0					

●体育系・医学部

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	医学部サッカー部	34	15	49	10	医学部バドミントン部	28	33	61
2	医水野球部	15	8	23	11	医学部バレーボール部	23	35	58
3	医学部陸上競技部	19	29	48	12	医学部卓球部	49	35	84
4	医学部ゴルフ部	29	19	48	13	医学部剣道部	28	29	57
5	医学部ラグビー部	21	13	34	14	医学部弓道部	19	22	41
6	医学部ハンドボール部	20	14	34	15	医学部空手道部	12	15	27
7	医学部ソフトテニス部	21	30	51	16	医学部競技スキー部	11	11	22
8	医学部硬式庭球部	22	37	59	17	医学部水泳部	8	4	12
9	医学部バスケットボール部	18	18	36	18	医学部山岳部	0	7	7

●文化系・全学

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	管弦楽団	17	41	58	32	SOLA(天文サークル)	20	15	35
2	吹奏楽団	16	33	49	33	BBS(教育ボランティア)	11	60	71
3	ギターマンドリンクラブ	19	22	41	34	ぶるさぁ。(アンザンブルサークル)	23	44	67
4	ギタークラブ	12	10	22	35	Pioneer(アカペラ)	48	72	120
5	邦楽部	2	7	9	36	みえ・シネマ・アーカイブ	10	10	20
6	室内楽団	3	15	18	37	ユネスコクラブ	4	5	9
7	写真部	15	13	28	38	アンビシャスカード(マジック)	22	18	40
8	合唱団	21	23	44	39	DUEL(カードゲームサークル)	6	0	6
9	美術部	8	12	20	40	DTMサークルJack	16	4	20
10	漫画倶楽部	47	37	84	41	STRAT(ボランティア)	2	3	5
11	ESS	58	41	99	42	MUS-net(災害ボランティア)	3	11	14
12	軽音楽部	63	29	92	43	食農サークル　農らく	15	14	29
13	ジョイア(学習支援ボランティア)	6	3	9	44	てらこや(国際交流サークル)	13	23	36
14	人形劇団つくし	0	7	7	45	K.A.F(森林ボランティア)	5	2	7
15	ピアノ同好会(KLUB KLAVIER)	13	26	39	46	しろちどり(手芸サークル)	0	4	4
16	表千家茶道部	6	14	20	47	Meiku [メイク(地域おこし)]	10	7	17
17	裏千家茶道部	2	14	16	48	つくしんぼサークル(子供ボランティア)	15	54	69
18	TRPG同好会(旧SF研究会)	19	2	21	49	クッキングアシスト	7	6	13
19	リカゲル(創作活動サークル)	25	15	40	50	mil-poa(アクセサリー作成)	0	7	7
20	囲碁・将棋部	16	1	17	51	カフェ・サークル Le Lien	15	20	35
21	HELLO FM!	14	8	22	52	Mie University Jazz Messengers	3	0	3
22	ヴァンパイア(献血推進サークル)	14	11	25	53	TGJ 津学生情報室	9	20	29
23	エレクトーンサークル23-tow・three-	10	9	19	54	三重大学放送局	4	4	8
24	万葉旅行の会	13	5	18	55	Bio Record(標本作製サークル)	4	5	9
25	Bb	20	6	26	56	musèe	0	4	4
26	かめっぷり	36	19	55	57	計算研究会	9	0	9
27	書道サークル(心太)	5	2	7	58	学生C@fe	3	0	3
28	劇団クレスト(演劇)	6	2	8	59	アイドルマスター研究会	5	0	5
29	ねこサークル	48	35	83	60	トラッパーズ	6	1	7
30	落語研究会	2	1	3	61	el -三重大学社会科学研究会-	1	4	5
31	Transfer(編入生対象)	32	25	57					

●文化系・医学部

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	東洋医学研究会	16	12	28	9	みえぬいぐるみ病院	8	11	19
2	医学部軽音楽部	23	26	49	10	MIE-project	7	7	14
3	セッションクラブBAG	43	35	78	11	小児科ボランティアぞくよん	20	58	78
4	きゅうめい部	34	43	77	12	MUSH(Mie University Students Helper)	16	10	26
5	MIT	4	14	18	13	学生団体MORE	8	7	15
6	U-Cam	6	11	17	14	献血推進サークル'ヴァンパイア'	7	5	12
7	子どもと一緒に小児医療を考える会	5	6	11	15	美術部	8	12	20
8	良き医療者をめざす会	51	13	64					

Ⅲ 障がい学生支援室

平成28年度　活動報告

障がい学生支援室長　菊池 紀彦

1 障がいのある学生や保護者に対する相談支援

総来談者延べ人数は49名であった。そのうち身体障がいのある学生の総来談者数は7名(実人数は1名)、発達障がいのある(またはその可能性が疑われる)学生の総来談者延べ人数は42名(実人数は2名)であった。発達障がいのある(またはその可能性が疑われる)学生の保護者の総来談者延べ人数は31名であった。

2 支援学生の養成

(1)教養教育授業「障がい学生支援実践」の実施
教養教育の授業において、障がい学生支援実践を開講した。今年度の受講者は81名であった。授業の具体的内容について①～⑦に示した。障がい児(者)の支援に造詣が深い講師を招聘して実践的な授業を実施した。また、他大学において障がい学生支援に携わる職員から、支援の実際や支援学生の養成のあり方についての講義を受けた。さらに、本学キャンパス環境整備室職員との交流会を実施した。
①ユニバーサルデザインについて(三重県健康福祉部地域福祉課職員)
②聴覚障がいについて(三重県聴覚障害者協会常務理事、聴覚障害要約筆記者)
③視覚障がいについて(NPO法人アイパートナー視覚障害者生活訓練等指導員)
④発達障がいについて(本学教育学部教員)
⑤日本福祉大学における障がい学生支援の取組について(日本福祉大学職員)
⑥本学定型業務等運営・支援センターキャンパス環境整備室職員との交流
⑦アカデミックフェアで学びの成果についての発表

3 学生主体による障がい学生支援の推進

(1)障がい学生支援実践を受講した学生(12名)が、大学近隣の小中学校(一身田小学校、北立誠小学校、橋北中学校)において、特別な支援を必要とする児童生徒の授業支援を行った(平成28年4月～平成29年1月)。
(2)障がい学生支援室サポーターを組織した。今年度は11名の学生が参加し、学生相互の支援のあり方や、全学の学生に対する理解・啓発のあり方について検討を行った。学生中心に検討を重ね、障がいのある人たちが利用するための学内トイレマップ(案)を作成した。

4 学内における理解・啓発活動

(1)障がい学生が在籍する学部教職員との連携・情報交換、コンサルテーションの実施
入学早期からの障がい学生支援を目指し、入試チームや学部等の部局内連携を推進した。入試チームからは、障がのある者の受験者情報や合格の可否についての情報提供を受けた。
入試チームからの情報に基づき、障がいのある学生とかかわりをもつ教職員に対する相談(主に学生対応に関するコンサルテーション)を実施した。総来談者延べ人数は30名であった。
(2)教職員を対象とした障がい学生支援セミナーの実施
富山大学保健管理センター准教授の西村優紀美先生を招聘し、「発達障害のある大学生の学修支援と就職支援」というテーマでセミナーを開催した。当日は78名(教員18名、事務職員52名、技術職員5名、その他1名)の参加があった(平成29年3月14日)。

5 学外関係機関との連携

(1)東海地区の大学、高等学校との連携・情報交換
①岐阜大学にて開催された「高機能ASD大学生に対する就労を視野に入れた支援の試み」FD・SD研修会に参加し情報収集するとともに、障がい学生支援室の視察を行った(平成28年4月25日)。
②三重県内の障害者職業センターやハローワーク、発達障がい者支援センターなどの外務機関と、本学学務部就職支援チームや学生なんでも相談室などの学内機関の支援担当者と、定期的な情報交換や事例検討を行った。
(2)三重県教育委員会との連携・情報交換
三重県教育委員会事務局特別支援教育課、同教職員課と障がい学生支援や特別支援学校免許の保有状況について情報交換を行った。

6 情報発信

(1)障がい学生支援室ホームページの改善を行った。
→学生向け、教職員向け、受験者向け、障がい学生支援室サポーターの募集
http://www.mie-u.ac.jp/life/supportstudents/index.html
(2)全学のホームページリニューアルに関し、広報室とウェブアクセシビリティについて意見交換を行った。

7 その他

(1)全国高等教育障害学生支援協議会に参加し、授業や実習における支援方法について情報収集を行った(平成28年6月25日、26日)
(2)障害学生支援実務者育成研修会に参加し、学内の障がい学生支援体制整備や支援方法について情報収集を行った(平成28年8月22日、23日)
(3)国立吉備高原職業リハビリテーションセンターの訪問を受け、障がい学生の卒業後の障害訓練等についての情報収集を行った(平成28年9月5日)
(4)東北大学にて開催された学生相談セミナー「大学の中のセクシュアルマイノリティー　－学生の理解と支援のために－」に参加し、セクシャルマイノリティーの学生に対する合理的配慮について情報収集を行った(平成28年9月17日)

Ⅳ 学生なんでも相談室

平成28年度　活動報告

1 相談・援助活動

(1)来談者に関する統計

	新規相談受付						案内	Co.による継続面接	その他の継続対応	合計
	教育	心理	進路	生活	その他	合計				
4月	5	4	3	0	1	13	160	39	53	265
5月	1	7	3	1	0	12	36	37	49	134
6月	0	5	3	1	1	10	23	43	45	121
7月	4	5	3	0	6	18	20	38	45	121
8月	1	4	2	0	0	7	24	22	24	77
9月	3	1	1	1	0	6	18	21	32	77
10月	2	6	3	2	1	14	34	26	51	125
11月	1	5	0	0	0	6	19	34	57	116
12月	1	3	1	0	1	6	20	29	43	98
1月	2	9	0	1	0	12	26	27	38	103
2月	2	2	0	1	2	7	16	35	49	107
3月	2	0	3	2	0	7	30	38	38	113
合計	24	51	22	9	12	118	386	389	524	1457

※数字はいずれも延べ人数を示す。
※「Co.」は心理カウンセラーを指す。
※「新規相談受付」件数の「その他」は、心理テスト・箱庭療法体験、分類困難な相談等の総数を示す。
※「案内」は事務的な案内や比較的軽微な相談等、およびピアサポーターによる相談対応件数の総数を示す。
※「その他の継続対応」は、主にCo.による担当事例に関する面接室外のケースワーク活動等の総数を示す。

(2)ピアサポーターによる相談活動

①新入生交流会「ケンミントーク ～地元自慢をしよう！～」
　4月9日(ピアサポートルーム)
②なんでも相談企画
・新入生履修相談
　4月5日～4月7日(総合研究棟Ⅱ1階:面談型)
・履修登録(パソコン入力)サポート
　4月5日～4月7日(各履修ガイダンス会場にて)
③教・職・学 交流イベント「第1回マニ友の会」(各参加者によるコレクション自慢の会)
　5月31日(ピアサポートルーム)

2 教育・広報活動

(1)教育活動

①授業の担当(いずれも鈴木によるもの)
　教養教育　前期　「ピアサポート実践」※副担当に後藤綾文講師(障がい学生支援室)
　教養教育(教職)　前期　「教育相談Ⅱ」
　教養教育　後期　「こころのサポート」
　教養教育　後期　「ピアサポート実践」※主担当は後藤綾文講師(障がい学生支援室)
　教養教育　後期　「学生生活支援実践」
　教育学部　後期　「心理的問題解決論」

(2)広報活動

①教職員研修(FD・SD)
　教養教育機構FD
　講演「学生対応・学生相談のポイント」(平成28年5月25日)
②広報
・新入生に対する相談室PRカードの配布
・来談促進用ポスターの作成と掲示
・教職員を対象としたニュースレター(メールマガジン)の作成と配信

3 研究・研修

・日本学生相談学会第34回大会(東京)(平成28年5月21日～23日)に鈴木が参加。
・第54回全国学生相談研修会(東京)(平成28年11月24日～11月26日)に鈴木が参加。

平成28年度　スタッフ

室　　　長　鈴木　英一郎(学生総合支援センター　講師)
カウンセラー　川島　一晃(非常勤)
　藤川　和(非常勤)
　牧野　勢津子(非常勤)
　イレーネ・ビューフリ・内田(非常勤)
インテーカー　浮田　めぐみ(事務補佐員)

学生なんでも相談室ニュース Vol.6

2016/11/7発行

◆ 目次 ◆

1. 相談室利用状況から
2. セクシュアルマイノリティの学生に対する支援
3.【連載】学生が先生に言われて嬉しかった一言！
4.お知らせ

先生方におかれましては、日頃より学生なんでも相談室の活動にご理解、ご支援をいただき、大変ありがとうございます。2012年度より当相談室ではニューズレター「学生なんでも相談室ニュース」を発行しております。相談室の利用状況や学生対応をしていただく際に有用な情報などを定期的にご紹介していきたいと考えております。

ご多忙の折、大変恐縮ですが、年間に1、2回程度の発行予定ですので、ぜひご高覧いただければと存じます。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

1 相談室利用状況から

●直近3年間における「不登校」を主訴とする問題（とその対応）に関する新規相談申込み（問い合わせ）件数

	学生本人	教職員	保護者
平成25年度	7	3	7
平成26年度	9	4	9
平成27年度	14	12	10

※それぞれ継続相談件数は除く。

上記の表は、平成25年度から平成27年度（直近の3年間）における「不登校」を主訴とする問題（とその対応）に関して、新規に対応した相談申込み（および問い合わせ）の件数を示しています（ほとんどの事例において、その後継続的な相談・対応に移行していきますが、それらについては含まれていません）。

これを見ると、年々「不登校」に関する対応件数が増えていることが分かります。しかも、これらはあくまで「不登校」であることそのものを主訴（主な相談テーマ）とした事例の件数のみであり、これら以外の進路相談や休退学の相談、人間関係の相談といった事例であっても、経過として不登校にある（あった）というものまで加えれば、かなり多くの件数にのぼると考えられます。

更によく分析をしてみると、まず入り口に「教職員からの相談・問い合わせ」や「保護者の方の相談・問い合わせ」があり、それをきっかけに「学生本人の来談」に至っているというパターンが増えつつあることが分かってきました。つまり、教職員や保護者の方からの問い合わせが増えたことに伴い、結果として学生本人からの相談も増え、全体の相談件数が増加しているものと考えることができそうです。

一般的に考えても、既に不登校状態にある学生が大学内の相談室に自発来談する、ということには相当なハードルがあることが想像されます。また、実際のところ、「不登校」を主訴とする事例では、なんとか本人が相談室まで一度繋がったとしても、残念ながら問題の解決に至る前に来談が途切れてしまうような場合も少なくありません。

それでも、担当されている先生方、事務の方、保護者、相談室など、関係者がそれぞれ連携をしながら働きかけを続けることで、多くの不登校学生が再出発を果たしていることもまた事実です。すぐには反応が無かったり、停滞したまま全く動きの無いようにみえる学生でも、地道に声掛け等の対応を続けていただくことで、しかるべきタイミングになってようやく相談室に来談してくれるような学生も存在します。引き続き、関係者間の連携によるネットワークの中で支えられるよう、ご協力をいただければと存じます。

2 セクシュアルマイノリティの学生に対する支援について

近年、セクシュアルマイノリティの学生の理解やその支援のあり方について話題になっています。ここでは、今年6月に日本学生相談学会より発表された『性別に違和感を持つ学生に、大学はなにができるかー大学における学生の困難と支援の現状ー』というレポートから、大学における対応の現状を一部抜粋してご紹介したいと存じます。

（以下の内容は、全国様々な大学から挙がっている事例に基づくものであり、必ずしも本学の現状を示したものではないことにご留意ください）

★どういった場面で困難が生まれるのか

◎性別適合手術とカミングアウトにまつわる葛藤や不安

既に性別適合手術を終えた学生、治療中の学生、希望している学生、迷っている学生、葛藤がある学生、当面そのつもりはない学生等、様々な状況があり、それぞれの状況に伴う問題や悩みがあります。また、これらの状況それぞれで、周囲にカミングアウトしている場合としていない場合があり、それによって起こる葛藤や不安も異なります。

◎周囲の人との関係

前項のような葛藤や不安は周囲の人との関係に影響を与えることになり、 家族の受け入れ、パートナーを見つけることの困難、パートナーとのトラブル、偏見や差別等、セクシュアルマイノリティについての直接的な問題もさることながら、幼少時や思春期から周囲と自分自身に違和感を抱いていたことによる対人関係全般への不全感や、それによる自己否定的な気持ち等も問題となっています。

★具体的に大学生活において問題となる状況

◎名前の使用について

学生の名前が男性らしい名前や女性らしい名前の場合、希望する性別らしい、あるいはどちらの性別でも違和感を持たれにくい名前の使用を申し出ることがあります。他大学の例では、特に以下のような書類について戸籍名以外の名前を使用したいとの要望が出て来ているようです。

（要望の具体例）・学生証　・卒業証書（学位記）　・健康診断書
・履修者名簿（出欠確認や指名、グループ分け等に使用）

◎性別を明らかにする必要がある場面

授業や課外活動等において性別によって分けられる場面や、性別を明らかにすることが求められる場面では、参加が制限されたり参加をあきらめたりすることが生じているようです。また、運動部の活動では、学内では参加可能でも、連盟等の学外組織では認められず、公式試合には出場できない等の問題が起こっています。

（問題となる場面の具体例）・水泳等の体育の授業　・男女別に行われるスポーツへの参加
・健康診断　・書類の性別欄（男・女）の記入　等

◎各種の施設利用について

大学等の施設を他の学生と一緒に使用する際に問題となっています。

（問題となる場面の具体例）・トイレや更衣室の使用　・合宿の部屋割りや入浴

★実際に取られている対応や支援の例

◎大学としての対応例

①個別の対応や配慮

- ユニバーサル（多目的）トイレの利用
- 健康診断を別の時間帯に受診　・体育等の着替えでは別室を使用
- 合宿での入浴は、別の時間帯や一人で入浴できる施設を用意
- 授業で点呼や指名をする時に、名簿の名前ではなく本人の希望する名前で呼ぶ
- 外部医療機関への紹介や連携
- 学内における支援のネットワークづくり（特に学外実習や就職活動に際して）

②大学全体に関わる組織的対応
・通称名の公的な使用を認める（通称名を認めるか、診断書を要するか等、様々な論点有り）
・学生に発行する証明書類から性別欄を除く
・セクシュアルマイノリティの支援についての広報活動
・講演やパンフレットの配布等、セクシュアルマイノリティに関する啓発活動
・支援体制検討のためのワーキンググループの設置
◎心理的な支援
・セクシュアルマイノリティであることについての本人の混乱や戸惑いへの心理的支援
・性別適合治療に関する本人の混乱や戸惑いについての心理的支援
・周囲へのカミングアウトの難しさに向き合うことの支援
・進路決定や就職活動の難しさに向き合うことの支援
・個々の学生の困り感やニーズの把握
・当事者サークルや自助グループについての情報提供
・必要に応じた家族との連携
◎その他（特に重層的な理解と慎重な対応が求められる事例）
・家族関係や対人関係での傷つきに対する反応として性別違和感を抱いていると考えられる学生への対応
・性別違和か性的指向の問題か自身でも判然としない学生への対応
・愛着の対象と性的指向の対象が混然となっている学生への対応
・発達障害等の他の心理的問題が併存している学生への対応
・自傷や自殺の危険性が高い学生への対応

以上のように、様々な場面で問題が起こり、かつそれぞれに配慮や対応の検討が必要とされることが分かります。
ただし、あくまで大学には、高等教育機関として学生の全人的成長や発達のための支援の提供が求められているのであり、セクシュアルマイノリティであることに殊更焦点を当てるのもやはり問題であろうと考えます。
他の学生の支援を考える場合と同様に、やはり学生の個別ニーズをきちんと把握した上で、学内外の各部署・関係者との連携・協働の中で可能な対応を考えていくのが基本であることに違いは無いでしょう。

<文献>日本学生相談学会　特別委員会・研修委員会（2016）
『「性別に違和感を持つ学生に、大学はなにができるか」大学における学生の困難と支援の現状
ー第42回学生相談セミナー グループディスカッションの報告ー』

3 【連載】学生が先生に言われて嬉しかった一言！

連載企画として、毎回「先生からこんな言葉をかけてもらえたのが嬉しかった」、「あの時の先生のこんな言葉で支えられた」というような本学における学生の体験を、ピアサポーター学生委員会の協力のもと収集して、順次紹介しております。

◎「公務員を志望している人が多いと聞きました。必要であれば、合格した先輩とつなぎますので、いつでも言ってください。」

【理由】
ある資格関連の授業内で、担当の先生が受講者全員に向けて言った言葉である。履修後もサポートしてくれるという心遣いが嬉しかった。実際に、その先生は公務員試験に関する質問を受講生から募集して、それに対して合格した先輩等に聞き取りをした上で回答を作成し、moodleを使ってそれを全員に公開してくれた。

（学部３年）

⇒大学院進学や就活、公務員受験など、学生は3年生後半あたりから、具体的な進路に関する問題に　直面していくことになるわけですが、特に就活、公務員受験組の中には、未知の領域に踏み出すことに伴う不安や葛藤でとても不安定な状態になる学生も見受けられます。
そんな時に、お持ちのリソースをご活用いただくことも含め、先生方にこのようなサポートをしていただけるのであれば、学生にとってはとても心強く感じられることでしょう。
他にも、学生にとって信頼のできる身近な大人として、「仕事」や「社会」についてお話しいただく、というのも、学生たちにとっては嬉しいこととして感じられるようです。親以外の大人とはほとんど接触する機会が無い、というような学生も大勢いるようですし、よろしければ、是非先生方がお感じになられている「仕事」や「社会」の楽しさ、厳しさを、一つのモデルとしてお近くの学生たちに伝えていただければと存じます。

4 お知らせ

★学生なんでも相談室は「学生」だけが相談できる場所、ではありません！ もちろん、三重大生の日々の生活の中で起こる困りごとや悩みごとの相談がメイン業務ではありますが、学生の対応に際し、お困りになられている　教員、職員、保護者の方のご相談も承っております。どうぞ気軽にご利用ください。
★学生理解、または学生対応に関する各種講演、FDも承っております。これまでにも、学生対応に関する総論的な留意点の解説をはじめ、不登校、発達障がい、留年を繰り返す学生、ハラスメント問題等のテーマでの講演のご依頼を各部局からいただいてきました。ご用命がございましたら、学生なんでも相談室までご連絡ください。
★連載企画「学生対応の注意点」については、今号ではお休みとさせていただきました。ご了承ください。

◆このメール内容についてのお問い合わせはこちらまでお寄せください。
E-Mail：sodan@ab.mie-u.ac.jp

◆このメールに掲載されている全ての記事、文章等の無断転載を禁止します。
Copyright（C）2015 三重大学学生総合支援センター 学生なんでも相談室. All Rights Reserved.

V キャリア支援センター

平成28年度　活動報告

1 キャリア教育

【平成28年度開講　教養教育 キャリア教育領域一覧】

科目群	授業科目	単位	授業テーマ	担当教員	開講時期 前期	開講時期 後期	履修者数 前期	履修者数 後期
学生支援	留学生支援実践（国際理解実践S）	2単位	留学生支援実践	後藤 綾文	-	水9・10	-	9(8)
	障がい学生支援実践（現代社会理解実践S）	2単位	障がい学生への支援	栗田 季佳　他	-	火3・4	-	25(56)
	ピアサポート実践	2単位	ピアサポート実践	鈴木 英一郎　他	金9・10	-	9	-
		2単位	ピアサポート実践	後藤 綾文　他	-	金9・10	-	17
	学生生活支援実践	2単位	学生生活支援実践	鈴木 英一郎	-	水5・6	-	8
	学習支援実践	2単位	学習支援実践A	長濱 文与　他	木3・4	-	8	-
		2単位	学習支援実践B	後藤 綾文	水9・10	-	9	-
	広報誌編集実践	2単位	広報誌編集実践	長屋 祐一	-	木7・8	-	16
	大学紹介実践	2単位	大学紹介実践	後藤 綾文	-	金3・4	-	16
就業力育成	キャリアプランニング入門	2単位	キャリアプランニング	長谷川 岳雄	水7・8	-	114	-
		2単位			-	水5・6	-	86
	インターンシップ入門	2単位	インターンシップ		月9・10	-	12	-
	キャリアイベント実践	2単位	キャリアイベント実践		-	水9・10	-	7
	キャリア形成論	2単位	キャリア形成		水9・10	-	18	-
	企業研究入門	2単位	仕事・社会を知る		-	月9・10	-	6
	アントレプレナー論（日本理解特殊講義S）	2単位	起業マインドの醸成	松岡 守　他	金9・10	-	11(49)	-
	地域と仕事（日本理解特殊講義S）	2単位	地域の仕事を知る	西村 訓弘　他	月7・8	-	51(75)	-
	社会連携型実践	2単位	社会連携型実践	西村 訓弘　他	-	月7・8	-	15
	知財学	2単位	発明・知財入門	松岡 守　他	-	火9・10	-	22
心的援助・マネジメント	こころのサポート（こころのサポート）	2単位	こころのサポート	後藤 綾文	水5・6	-	38(141)	-
		2単位	こころのサポート	鈴木 英一郎	-	月7・8	-	27(49)
		2単位	こころのサポート	望木 郁代	木5・6	-	4(65)	-
		2単位	こころのサポート		-	木5・6	-	8(60)
	A-Iポジティブ思考法（心理学S）	2単位	A-Iポジティブ思考法	川島 一晃	月7・8	-	14(37)	-
		2単位	A-Iポジティブ思考法		-	月7・8	-	20(22)
				計	9科目	13科目	288(367)	282(195)
				合計			655	477

（　）は教養統合科目で外数

2 インターンシップ

【平成28年度　所属別・学年別参加者数】

所属	学部生 1年	学部生 2年	学部生 3年	学部生 4年	学部生 小計	大学院生 修士	大学院生 博士	大学院生 特別聴講学生	大学院生 小計	合計
人文学部	8	11	55		74			1	1	75
教育学部		1	1		2				0	2
医学部					0				0	0
工学部	5	3	54	9	71	54	1		55	126
生物資源学部	27	26	61	2	116	15	1		16	132
地域イノベーション学研究科	–	–	–	–	–	13			13	13
合計	40	41	171	11	263	82	2	1	85	348

○企業等受入数　165機関
○説明会/事前研修会　563名
　5月7日(土)13:00～17:30　講堂大ホール他にて
○事後研修会　103名
　11月2日(水)16:30-18:30　講堂小ホールにて

3 就職活動支援

(1)就職ガイダンス
・平成28年4月～平成29年3月　20回実施　講堂大ホール他
・参加学生数　延べ 8941 人

参加数	NO.	実施月	開催日	開催時間	ガイダンス	場所	講師
300	1	4月	22日(金)	16:30～18:00	就活スケジュール等、就職活動について全般	講堂大ホール・ホワイエ	マイナビ
246			27日(水)	13:30～15:00			
111 56	2	5月	11日(水)	午後	公務員試験対策説明会および公務員業務説明会	講堂すべて	生協他
198	3	6月	3日(金)	16:30～18:00	職務適正検査および業界・企業・職種説明	講堂大ホール・ホワイエ	ディスコ
169			8日(水)	13:30～15:00			
87	4	6月	24日(金)	16:30～18:00	筆記(SPI)試験対策	講堂大ホール・ホワイエ	リクルートキャリア
96		7月	6日(水)	13:30～15:00			

参加数	NO.	実施月	開催日	開催時間	ガイダンス	場所	講師
17	5	9月	28日(水)	13:00～17:00	就職相談会！	メディアホール	キャリア支援センター
696 (うち学生114)	6	10月	8日(土)	10:30～12:30	保護者向け「就職活動」についての説明会	講堂すべて	キャリア支援センター
189	7	10月	12日(水)	14:45～16:15	就活必勝法!!	講堂小ホール・ホワイエ	リクルートキャリア
約100	8			16:30～18:00	面接でどう乗り切るか!"時事問題" －日経新聞から読み取る時事－		日経メディアプロモーション
88	9	10月	19日(水)	16:30～18:30	業界研究セミナー －異業種5社によるパネルディスカッション－	講堂小ホール・ホワイエ	でらコラボ
91	10	11月	9日(水)	午後	先輩に聞く就活の仕方	講堂小ホール・ホワイエ	キャリア支援センター
34	11	11月	11日(金)	16:30～18:30	ワーク型！エントリーシート対策 －自己PR編－	メディアホール	キャリア支援センター
39 26			16日(水)	13:00～15:00 16:30～18:30			
16	12	11月	25日(金)	16:30～18:30	ワーク型！企業研究	メディアホール	ディスコ
24 34			30日(水)	13:00～15:00 16:30～18:30			
35	13	12月	2日(金)	16:30～18:30	実践！グループディスカッション	メディアホール	ダイヤモンド・ヒューマンリソース
28 38			7日(水)	13:00～15:00 16:30～18:30			
42	14	12月	14日(水)	16:30～18:30	ワーク型！エントリーシート対策 －志望動機編－	メディアホール	学情
32 35			16日(金)	13:00～15:00 16:30～18:30			
310	15	1月	11日(水)	15:30～16:20	労働の基礎知識教えます！ －働くとは－	講堂小ホール・ホワイエ	三重労働局
310	16			16:30～18:00	就職活動に向けた、就活テクニック伝えます！		マイナビ
144	17	1月	18日(水)	午後	公務員業務説明会	講堂小ホール・ホワイエ	キャリア支援センター
239	18	2月	16日(木)	午後	面接対策、 人事採用担当者パネルディスカッション	講堂小ホール・ホワイエ	マイナビ・リクルートキャリア
245	19	2月	27日(月)	10:30～12:00 13:30～15:00	合同企業説明会(学内・学外) まわり方講座	講堂小ホール・ホワイエ	キャリア支援センター
2903 1963	20	3月	6日(月)～8日(水) 14日(火)～16日(木)	終日	学内企業説明会	講堂すべて	キャリア支援センター

(2)ミニ講座(少人数制：個人面接・集団面接・グループディスカッション対策)

・平成28年4月～平成29年3月　14回実施　第5会議室 他

・参加学生数　延べ75人

	実施日	内容	参加数
1	4/13	集団面接対策	6
2	4/18	個人面接対策	3
3	4/21	個人面接対策	3
4	4/21	集団面接対策	5
5	5/9	個人面接対策	6
6	5/20	個人面接対策	6
7	5/27	個人面接対策	6
8	6/23	個人面接対策	6
9	7/5	グループディスカッション(集団討論)対策	5
10	7/25	個人面接対策	6
11	7/29	グループディスカッション(集団討論)対策	7
12	9/20	グループディスカッション(集団討論)対策	5
13	10/7	グループディスカッション(集団討論)対策	5
14	2/17	集団面接対策	6
計			75

(3)就職相談

・キャリアカウンセラー就職相談〔就職相談コーナー〕

【月別・相談内容別件数】

	就職相談	進路決定相談	内定・内内定の相談	履歴書作成	エントリーシート作成	志望動機	自己PR	面接	メンタル面	自己分析	その他	合計
4月	25	3	1	18	102	1	4	75	0	0	3	232
5月	26	1	16	2	35	3	1	88	0	0	2	174
6月	29	1	30	5	55	0	1	52	0	1	7	181
7月	17	1	19	4	32	1	0	53	0	1	9	137
8月	16	1	8	1	7	1	0	37	0	0	1	72
9月	15	2	8	2	12	4	1	29	0	1	2	76
10月	28	3	8	1	17	1	0	47	0	0	4	109
11月	16	5	6	2	15	0	1	20	0	5	7	77
12月	18	2	2	2	23	2	0	8	0	1	0	58
1月	26	1	0	1	45	3	3	11	0	0	1	91
2月	32	4	1	1	72	3	1	5	0	0	1	120
3月	34	1	1	13	136	3	3	27	0	0	3	221
合計	282	25	100	52	551	22	15	452	0	9	40	1548

4 キャリアピアサポーター

○平成28年度(前期)資格認定者　上級　5人

初級　9人

○平成28年度(後期)資格認定者　上級　3人

初級　26人

合計　43人

平成 28 年度 就職状況について

平成29年5月1日現在

【地域別就職状況及び就職率】

区分			卒業・修了者	卒業・修了者の内訳 進学者	臨床研修医	その他	就職者	三重県	愛知県	東海地方(静岡・岐阜)	関東地方	近畿地方	その他	就職率(%)(就職希望者に占める就職者の割合) 平成28年度 就職率(%)	平成28年度 対前年度増減(%)	(参考)平成27年度 就職率(%)	(参考)平成26年度 就職率(%)
学部	人文学部	文化学科	112(80)	14(7)		11(7)	87(66)	24(19)	26(17)	7(3)	22(19)	4(4)	4(4)	95.6(95.7)	△0.5(△1.7)	96.1(97.4)	97.0(97.4)
		法律経済学科	193(96)	4(0)		14(6)	175(90)	43(21)	55(27)	12(4)	44(26)	13(6)	8(6)	98.3(97.8)	△1.7(△2.2)	100.0(100.0)	97.1(98.8)
		計	305(176)	18(7)	0(0)	25(13)	262(156)	67(40)	81(44)	19(7)	66(45)	17(10)	12(10)	97.4(96.9)	△1.2(△1.9)	98.6(98.8)	97.1(98.1)
	教育学部	学校教育教員養成課程	142(81)	16(4)		5(2)	121(75)	81(52)	23(13)	3(0)	5(2)	5(4)	4(4)	99.2(98.7)	0.0(△0.1)	99.2(98.8)	98.5(98.8)
		情報教育課程	22(8)	1(0)		1(0)	20(8)	8(3)	10(5)		1(0)	1(0)		100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
		生涯教育課程	15(10)	1(0)			14(10)	4(4)	5(3)	1(0)	4(3)			100.0(100.0)	5.3(0.0)	94.7(100.0)	100.0(100.0)
		人間発達科学課程	28(23)	6(4)		6(5)	16(14)	8(7)	3(2)	1(1)	3(3)	1(1)		94.1(93.3)	△5.9(△6.7)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
		計	207(122)	24(8)	0(0)	12(7)	171(107)	101(66)	41(23)	5(1)	13(8)	7(5)	4(4)	98.8(98.2)	△0.1(△0.9)	98.9(99.1)	98.9(99.0)
	医学部	医学科	122(41)		120(41)	2(0)								−(−)	−(−)	−(−)	−(−)
		看護学科	81(77)			4(4)	77(73)	46(42)	23(23)	2(2)	1(1)	5(5)		100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	98.8(98.7)
		計	203(118)	0(0)	120(41)	6(4)	77(73)	46(42)	23(23)	2(2)	1(1)	5(5)	0(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	98.8(98.7)
	工学部	機械工学科	82(5)	53(1)		2(0)	27(4)	7(1)	12(2)	1(0)	3(0)	3(1)	1(0)	100.0(100.0)	0.0(−)	100.0(−)	97.4(100.0)
		電気電子工学科	100(2)	53(1)		1(0)	46(1)	8(0)	26(0)	1(0)	6(0)	5(1)		100.0(100.0)	0.0(−)	100.0(−)	100.0(−)
		分子素材工学科	96(20)	69(11)		4(0)	23(9)	6(4)	9(3)	1(0)	4(2)	3(0)		100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	97.0(100.0)
		建築学科	49(8)	21(5)		3(1)	25(2)		4(1)		9(1)	12(0)		92.6(66.7)	△7.4(△33.3)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
		情報工学科	57(5)	25(0)		3(0)	29(5)	7(0)	16(3)		5(1)	1(1)		96.7(100.0)	△3.3(0.0)	100.0(100.0)	91.7(100.0)
		物理工学科	40(0)	17(0)		1(0)	22(0)	4(0)	10(0)	1(0)	4(0)	3(0)		95.7(−)	△4.3(−)	100.0(−)	93.8(100.0)
		計	424(40)	238(18)	0(0)	14(1)	172(21)	32(5)	77(9)	4(0)	31(4)	27(3)	1(0)	97.7(95.5)	△2.3(△4.5)	100.0(100.0)	97.2(100.0)
	生物資源学部	資源循環学科	71(30)	21(2)		3(2)	47(26)	16(10)	15(8)	2(1)	7(3)	6(4)	1(0)	97.9(100.0)	0.2(0.0)	97.7(100.0)	96.5(96.6)
		共生環境学科	89(30)	24(3)		3(0)	62(27)	9(2)	29(16)	2(1)	8(4)	11(3)	3(1)	100.0(100.0)	1.7(3.8)	98.3(96.2)	98.5(100.0)
		生物圏生命科学科	100(47)	45(18)		2(2)	53(27)	7(3)	22(11)	1(0)	12(7)	10(6)	1(0)	98.1(96.4)	1.4(0.2)	96.7(96.2)	88.7(93.3)
		計	260(107)	90(23)	0(0)	8(4)	162(80)	32(15)	66(35)	5(2)	27(14)	27(13)	5(1)	98.8(98.8)	1.2(1.3)	97.6(97.5)	94.6(96.5)
	合計		1,399(563)	370(56)	120(41)	65(29)	844(437)	278(168)	288(134)	35(12)	138(72)	83(36)	22(15)	98.3(98.0)	△0.6(△0.9)	98.9(98.9)	97.1(98.2)
大学院	人文社会科学研究科	地域文化論専攻	7(5)	2(2)		1(0)	4(3)	2(1)	1(1)			1(1)		80.0(100.0)	△20.0(0.0)	100.0(100.0)	85.7(100.0)
		社会科学専攻	6(2)			4(2)	2(0)		1(0)		1(0)			66.7(−)	△33.3(−)	100.0(−)	100.0(100.0)
		計	13(7)	2(2)	0(0)	5(2)	6(3)	2(1)	2(1)	0(0)	1(0)	1(1)	0(0)	75.0(100.0)	△25.0(0.0)	100.0(100.0)	91.7(100.0)
	教育学研究科	教育科学専攻	34(18)	1(1)		4(4)	29(13)	19(7)	4(2)	1(0)	1(1)		4(3)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
		計	34(18)	1(1)	0(0)	4(4)	29(13)	19(7)	4(2)	1(0)	1(1)	0(0)	4(3)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	医学系研究科	医科学専攻	12(8)	1(1)		2(2)	9(5)	1(1)	2(1)		2(1)	4(2)		100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(−)
		看護学専攻	9(8)				9(8)	8(8)	1(0)					100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
		生命医科学専攻(博士課程)	44(14)			3(1)	41(13)	34(10)	4(2)		2(1)	1(0)		100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
		計	65(30)	1(1)	0(0)	5(3)	59(26)	43(19)	7(3)	0(0)	4(2)	5(2)	0(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	工学研究科	機械工学専攻	47(1)	1(0)			46(1)	5(0)	15(0)	2(0)	18(1)	6(0)		100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
		電気電子工学専攻	41(1)			1(0)	40(1)	1(0)	20(1)	3(0)	10(0)	3(0)	3(0)	100.0(100.0)	0.0(−)	100.0(−)	100.0(100.0)
		分子素材工学専攻	63(5)	3(1)			60(4)	4(0)	29(2)	5(0)	13(1)	8(1)	1(0)	100.0(100.0)	1.7(0.0)	98.3(100.0)	100.0(100.0)
		建築学専攻	20(2)	1(0)		1(0)	18(2)		2(0)		12(1)	3(1)	1(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
		情報工学専攻	20(2)			1(0)	19(2)	1(0)	13(2)		2(0)	3(0)		100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
		物理工学専攻	18(1)				18(1)	1(0)	14(0)		1(1)	2(0)		100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
		計(博士前期)	209(12)	5(1)	0(0)	3(0)	201(11)	12(0)	93(5)	10(0)	56(4)	25(2)	5(0)	100.0(100.0)	0.5(0.0)	99.5(100.0)	100.0(100.0)
		材料科学専攻	6(1)				6(1)	2(0)			1(0)	1(0)	2(1)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
		システム工学専攻	7(0)			2(0)	5(0)		2(0)		1(0)		2(0)	83.3(−)	△16.7(−)	100.0(−)	100.0(100.0)
		計(博士後期)	13(1)	0(0)	0(0)	2(0)	11(1)	2(0)	2(0)	0(0)	2(0)	1(0)	4(1)	91.7(100.0)	△8.3(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	生物資源学研究科	資源循環学専攻	16(7)	3(0)		5(3)	8(4)	1(0)		1(0)	2(1)	2(1)	2(2)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	92.9(100.0)
		共生環境学専攻	28(7)	3(1)		1(0)	24(6)	3(1)	7(1)	1(1)	8(3)	4(0)	1(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	95.7(100.0)
		生物圏生命科学専攻	39(18)	2(1)		1(0)	36(17)	4(2)	8(4)	4(2)	10(4)	7(5)	3(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	97.1(100.0)
		計(博士前期)	83(32)	8(2)	0(0)	7(3)	68(27)	8(3)	15(5)	6(3)	20(8)	13(6)	6(2)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	95.8(100.0)
		資源循環学専攻	2(1)			1(0)	1(1)				1(1)			100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	−(−)
		共生環境学専攻	4(3)			2(2)	2(1)	2(1)						100.0(100.0)	0.0(−)	100.0(−)	75.0(100.0)
		生物圏生命科学専攻	3(2)			1(0)	2(2)	1(1)					1(1)	100.0(100.0)	0.0(−)	100.0(−)	100.0(−)
		計(博士後期)	9(6)	0(0)	0(0)	4(2)	5(4)	3(2)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	88.9(100.0)
	地域イノベーション学研究科	地域イノベーション学専攻(博士前期)	9(5)	1(1)		2(2)	6(2)	3(2)	1(0)		1(0)	1(0)		100.0(100.0)	14.3(0.0)	85.7(100.0)	100.0(100.0)
		計	9(5)	1(1)	0(0)	2(2)	6(2)	3(2)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	100.0(100.0)	14.3(0.0)	85.7(100.0)	100.0(100.0)
		地域イノベーション学専攻(博士後期)	4(2)			1(1)	3(1)		1(1)	1(0)		1(0)		100.0(100.0)	0.0(−)	100.0(−)	100.0(100.0)
		計	4(2)	0(0)	0(0)	1(1)	3(1)	0(0)	1(1)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	100.0(100.0)	0.0(−)	100.0(−)	100.0(100.0)
	合計		439(113)	18(8)	0(0)	33(17)	388(88)	92(34)	125(17)	18(3)	86(16)	47(11)	20(7)	99.2(100.0)	△0.3(0.0)	99.5(100.0)	98.8(100.0)

(注)博士課程、博士後期課程の修了者については、単位取得満期退学者を含む。

(　)内は、女子学生数を内数で示す。

平成29年5月1日現在

【産業別就職状況】

区分			卒業・修了者	就職者	就職者の内訳 農業、林業 漁業、鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売・小売業	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	学術研究専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	(内、教員数)	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業	公務	その他
学部	人文学部	文化学科	112(80)	87(66)		2(2)	11(8)		6(4)	3(3)	7(7)	9(8)		4(3)		5(3)	12(9)	9(6)	3(3)		3(3)	22(13)	
		法律経済学科	193(96)	175(90)		8(3)	24(9)	1(0)	14(11)	6(4)	16(6)	28(18)	3(1)	5(3)	2(0)	3(1)	5(1)		4(4)	2(2)	3(1)	51(26)	
		計	305(176)	262(156)	0(0)	10(5)	35(17)	1(0)	20(15)	9(7)	23(13)	37(26)	3(1)	9(6)	2(0)	8(4)	17(10)	9(6)	7(7)	2(2)	6(4)	73(39)	0(0)
	教育学部	学校教育教員養成課程	142(81)	121(75)			4(4)		1(1)	2(1)	1(1)	1(1)				1(1)	92(53)	87(52)	2(2)		3(0)	14(11)	
		情報教育課程	22(8)	20(8)					3(2)								15(5)	14(5)	1(0)			1(1)	
		生涯教育課程	15(10)	14(10)			1(1)		1(1)			2(2)					6(3)	5(2)	1(1)			3(2)	
		人間発達科学課程	28(23)	16(14)						1(1)	2(1)	1(1)	1(1)		1(1)	2(2)	5(4)	4(4)			1(1)	2(2)	
		計	207(122)	171(107)	0(0)	0(0)	5(5)	0(0)	5(4)	3(2)	3(2)	4(4)	1(1)	0(0)	1(1)	3(3)	118(65)	110(63)	4(3)	0(0)	4(1)	20(16)	0(0)
	医学部	医学科	122(41)																				
		看護学科	81(77)	77(73)															76(72)			1(1)	
		計	203(118)	77(73)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	76(72)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)
	工学部	機械工学科	82(5)	27(4)			24(2)		1(1)					2(1)									
		電気電子工学科	100(2)	46(1)		2(0)	31(1)	1(0)	2(0)					3(0)			1(0)		1(0)		2(0)	3(0)	
		分子素材工学科	96(20)	23(9)			18(6)	1(0)						1(1)								3(2)	
		建築学科	49(8)	25(2)		18(1)	1(0)				1(1)			3(0)			1(0)					1(0)	
		情報工学科	57(5)	29(5)			12(2)		9(2)	1(0)				2(1)			2(0)					3(0)	
		物理工学科	40(0)	22(0)		1(0)	14(0)		3(0)					2(0)							1(0)	1(0)	
		計	424(40)	172(21)	0(0)	21(1)	100(11)	2(0)	15(3)	1(0)	1(1)	0(0)	0(0)	13(3)	0(0)	0(0)	4(0)	0(0)	1(0)	0(0)	3(0)	11(2)	0(0)
	生物資源学部	資源循環学科	71(30)	47(26)			16(7)		3(3)	1(0)	3(0)	2(2)		3(2)		1(1)	3(3)	3(3)		3(1)	1(1)	11(6)	
		共生環境学科	89(30)	62(27)	3(1)	2(1)	7(2)		4(3)	2(2)	3(1)		1(0)	6(2)		1(1)	2(0)	1(0)				31(14)	
		生物圏生命科学科	100(47)	53(27)	1(1)	1(0)	21(12)		3(2)		7(3)	2(2)	1(1)	1(1)	1(0)		2(1)		1(1)	2(1)	1(1)	9(1)	
		計	260(107)	162(80)	4(2)	3(1)	44(21)	0(0)	10(8)	3(2)	13(4)	4(4)	2(1)	10(5)	1(0)	2(2)	7(4)	4(3)	1(1)	5(2)	2(2)	51(21)	0(0)
	合計		1,399(563)	844(437)	4(2)	34(7)	184(54)	3(0)	50(30)	16(11)	40(20)	45(34)	6(3)	32(14)	4(1)	13(9)	146(79)	123(72)	89(83)	7(4)	15(7)	156(79)	0(0)
大学院	人文社会科学研究科	地域文化論専攻	7(5)	4(3)		1(1)	1(1)				1(1)						1(0)	1(0)					
		社会科学専攻	6(2)	2(0)							1(0)											1(0)	
		計	13(7)	6(3)	0(0)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)
	教育学研究科	教育科学専攻	34(18)	29(13)			2(1)		1(1)			1(0)					23(9)	22(9)	1(1)			1(1)	
		計	34(18)	29(13)	0(0)	0(0)	2(1)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	23(9)	22(9)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)
	医学系研究科	医科学専攻	12(8)	9(5)			6(2)										1(1)	1(1)	2(2)				
		看護学専攻	9(8)	9(8)															7(6)			2(2)	
		生命医科学専攻(博士課程)	44(14)	41(13)										2(1)			6(3)	3(1)	33(9)				
		計	65(30)	59(26)	0(0)	0(0)	6(2)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)	0(0)	0(0)	7(4)	4(2)	42(17)	0(0)	0(0)	2(2)	0(0)
	工学研究科	機械工学専攻	47(1)	46(1)			44(1)							1(0)								1(0)	
		電気電子工学専攻	41(1)	40(1)			30(0)	1(0)	2(0)					5(0)								2(1)	
		分子素材工学専攻	63(5)	60(4)			55(4)				1(0)			1(0)							2(0)	1(0)	
		建築学専攻	20(2)	18(2)		10(1)		1(0)						7(1)									
		情報工学専攻	20(2)	19(2)			11(2)		7(0)					1(0)									
		物理工学専攻	18(1)	18(1)			12(1)							3(0)							1(0)	2(0)	
		計(博士前期)	209(12)	201(11)	0(0)	10(1)	152(8)	2(0)	9(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	18(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)	6(1)	0(0)
		材料科学専攻	6(1)	6(1)			3(0)							1(1)			2(0)	2(0)					
		システム工学専攻	7(0)	5(0)		1(0)	2(0)							1(0)			1(0)	1(0)					
		計(博士後期)	13(1)	11(1)	0(0)	1(0)	5(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)	0(0)	0(0)	3(0)	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	生物資源学研究科	資源循環学専攻	16(7)	8(4)	2(2)		3(0)		1(1)					1(0)								1(1)	
		共生環境学専攻	28(7)	24(6)		2(0)	12(3)		3(1)					2(1)		1(0)	1(0)	1(0)		2(1)	1(0)		
		生物圏生命科学専攻	39(18)	36(17)			19(11)	1(1)		2(1)	2(1)	1(0)		5(1)			1(0)	1(0)		1(0)	1(0)	3(2)	
		計(博士前期)	83(32)	68(27)	2(2)	2(0)	34(14)	1(1)	4(2)	2(1)	2(1)	1(0)	0(0)	8(2)	0(0)	1(0)	2(0)	2(0)	0(0)	3(1)	2(0)	4(3)	0(0)
		資源循環学専攻	2(1)	1(1)																		1(1)	
		共生環境学専攻	4(3)	2(1)													2(1)						
		生物圏生命科学専攻	3(2)	2(2)										1(1)									1(1)
		計(博士後期)	9(6)	5(4)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	1(1)
	地域イノベーション学研究科	地域イノベーション学専攻(博士前期)	9(5)	6(2)		1(0)	3(1)		2(1)														
		計	9(5)	6(2)	0(0)	1(0)	3(1)	0(0)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		地域イノベーション学専攻(博士後期)	4(2)	3(1)										1(0)			1(0)					1(1)	
		計	4(2)	3(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)
	合計		439(113)	388(88)	2(2)	15(2)	203(27)	3(1)	16(4)	2(1)	5(2)	2(0)	0(0)	32(6)	0(0)	1(0)	39(14)	32(11)	43(18)	3(1)	5(0)	16(9)	1(1)

(注)博士課程、博士後期課程の修了者については、単位取得満期退学者を含む。

(　)内は、女子学生数を内数で示す。

Ⅵ SA（スチューデント・アシスタント）

SA（スチューデント・アシスタント）の取り組みをふりかえって
－ SAとして活躍する先輩から学ぶ －

SA（Student Assistant）の取り組みとは、キャリア・ピアサポーター上級資格を取得した学生を活用する学生支援施策である。本学では、仲間が仲間を支援するというこの相互支援の取り組みの本質は、“大学という一つの社会の中で様々な体験をすることは自身のキャリア（生き方）に寄与する”という観点から「キャリア・ピアサポーター」と呼称し、学生個々人のその人らしさを活かした、ピア（仲間）を支援することを推進している。キャリア・ ピアサポーターには、初級資格と上級資格が設けられている。学生が支援に関連する様々な知識・技能・態度を高めることのできる講義・演習を一定数受講することで、これらの資格 を取得できるという資格教育プログラムが設置されている。

キャリア・ピアサポーター上級資格を取得するまでに、学生は、他者に対する学習支援（ファシリテーション）を実践的に学ぶ講義・演習科目（学習支援実践）や、他者に対する心理的支援を実践的に学ぶ講義・演習科目（こころのサポート）を必修科目として、単位取得しなくてはならない。SAとなる学生の力量を保障するため、他者への配慮や支援方法などについて学ぶことになっている。SAとして、ただの授業準備や配布物の配布補助ではなく、受講生のグループディスカッションへの参加を促すファシリテーションや、受講生の学びをより深めるための支援が望まれている。本学では、教職員ではなく、学生同士、先輩だからこそできる学習支援、学生支援を目指しているのである。

学習支援実践という授業科目は、他者に対する学習支援実践を学びながら、先輩SAの学習支援やサポートを受けるという構造になっている。先輩SAからの学習支援やサポートを受けながらも、その支援の方法や内容等をモデルとして学ぶことができるのである。学習支援実践を受けた学生たちに、「この授業で何を学び、SAとなったときにどう生かすか」問いたところ、先輩SAからの具体的な学習支援やサポートを例に挙げながら、「答えを本人から導くことができるように、一人ひとりの個性を見る、見つけることが大事だと思った」、「学生のグループ活動への接し方と、個々の学生への接し方のバランスを学んだ」、「学習者がどれくらい理解をしているかを把握したうえで、話し合いが詰まったとき等にタイミングよく必要なサポートをくれた」、「SA自身が親しみやすく、前向きな姿勢で取り組んでいて、雰囲気をつくってくれた」等が挙げられた。想像していた以上に、先輩SAをモデルに 学習していることがうかがわれた。

平成28年度は、学内の先生方のご理解のもと17科目でSA総数20名を活用した授業が行われた。SAを活用することによる授業の受講生への効果、さらにはSA自身への効果を先生方が感じてくださっていることを願いたい。

●Table 1　平成28年度SA採用者及びSA活用授業

期間	授業名	学部	学年	人数
前期	学習支援実践B	人文・生物資源	3年・4年	2名
	ピアサポート実践	人文	4年	1名
	インターンシップ入門	教育	3年	1名
	アントレプレナー論	人文	3年	1名
	AI−肯定的思考法−	教育	4年	1名
	こころのサポート	人文	3年	1名
後期	留学生支援実践	人文	3年	1名
	ピアサポート実践	教育	3年	2名
	学生生活支援実践	生物資源	2年・4年	2名
	広報誌編集実践	教育	3年	1名
	大学紹介実践	教育	3年	2名
	キャリアプランニング入門	人文	3年	1名
	AI−肯定的思考法−	教育	3年	1名
	こころのサポート	人文	2年・3年	2名
				合計 20名

2016年度 入学者用

キャリア・ピアサポーター資格取得ガイド

あなたも
キャリア・ピアサポーターに
なろう!!

申請ってどうするの?

資格認定までのステップ

STEP 1

キャリア・ピアサポーター資格申請書 および成績証明書を提出

HPでダウンロードできます!
http://www.mie-u.ac.jp/life/peer/license.html

定められた時期までに、
キャリア支援センター(就職支援チーム)に提出します。
[提出場所:総合研究棟Ⅱ1階キャリア支援センター(就職支援チーム)]

2016年度における資格申請期間

[前期末申請]
申請書締切7/25(月)~8/5(金)　成績証明書締切9/7(水)

[後期末申請]
申請書締切1/30(月)~2/10(金)　成績証明書締切4/3(月)

▼

STEP 2

学生総合支援センター会議による審査

[資格認定基準]
- ●資格認定要件となる授業において単位を取得していること。
- ●キャリア・ピアサポート活動に従事するに当たり、十分な意欲と素養を備えていること。

▼

STEP 3

基準を満たす学生に対して、初級資格、または上級資格認定証を授与

資格認定者の発表は、前期末申請分については9月下旬、後期末申請分については次年度4月下旬を予定しています。

Special Step

SA(Student Assistant)申請

上級資格取得者のみ申請でき、審査を受け、任用されます。

2 資格取得に関わる科目を選ぼう!

初級資格取得に必要な科目

必修科目(2科目)
◆スタートアップセミナー　◆キャリアプランニング入門

＋

選択科目(1科目)
下記から1科目選んでください ※( )は教養統合科目として履修した場合の科目名
- ◆留学生支援実践(国際理解実践S)
- ◆障がい学生支援実践(現代社会理解実践S)
- ◆ピアサポート実践
- ◆学生生活支援実践
- ◆広報誌編集実践
- ◆大学紹介実践
- ◆キャリアイベント実践
- ◆社会連携型実践

全部で3科目!

上級資格取得に必要な科目

必修科目(2科目)
◆学習支援実践　◆こころのサポートまたはA-Iポジティブ思考法(心理学S)

＋

選択科目(2科目)
下記から2科目選んでください ※初級資格で申請した科目以外を選択する。※( )は教養統合科目として履修した場合の科目名
- ◆留学生支援実践(国際理解実践S)
- ◆障がい学生支援実践(現代社会理解実践S)
- ◆ピアサポート実践
- ◆学生生活支援実践
- ◆広報誌編集実践
- ◆大学紹介実践
- ◆キャリアイベント実践
- ◆社会連携型実践
- ◆インターンシップ入門
  ※前期に開講されますが、後期に単位認定されるため、資格申請は後期以降となります。
- ◆キャリア形成論
- ◆企業研究入門
- ◆アントレプレナー論(日本理解特殊講義S)
- ◆地域と仕事(日本理解特殊講義S)
- ◆知財学

全部で4科目!

※選択必修科目や選択科目は毎年変更されますが、いずれの年度に習得した単位であっても認められます。

3 資格取得を目指した履修スケジュールを確認しよう!

例1

1年前期
- ◆スタートアップセミナー
- ◆キャリアプランニング入門
- ◆ピアサポート実践

Advice: 前期末に初級資格申請をしたいから、前期に実践科目を履修しよう。

→ **初級資格認定!**

1年後期
- ◆こころのサポート
- ◆留学生支援実践
- ◆キャリア形成論

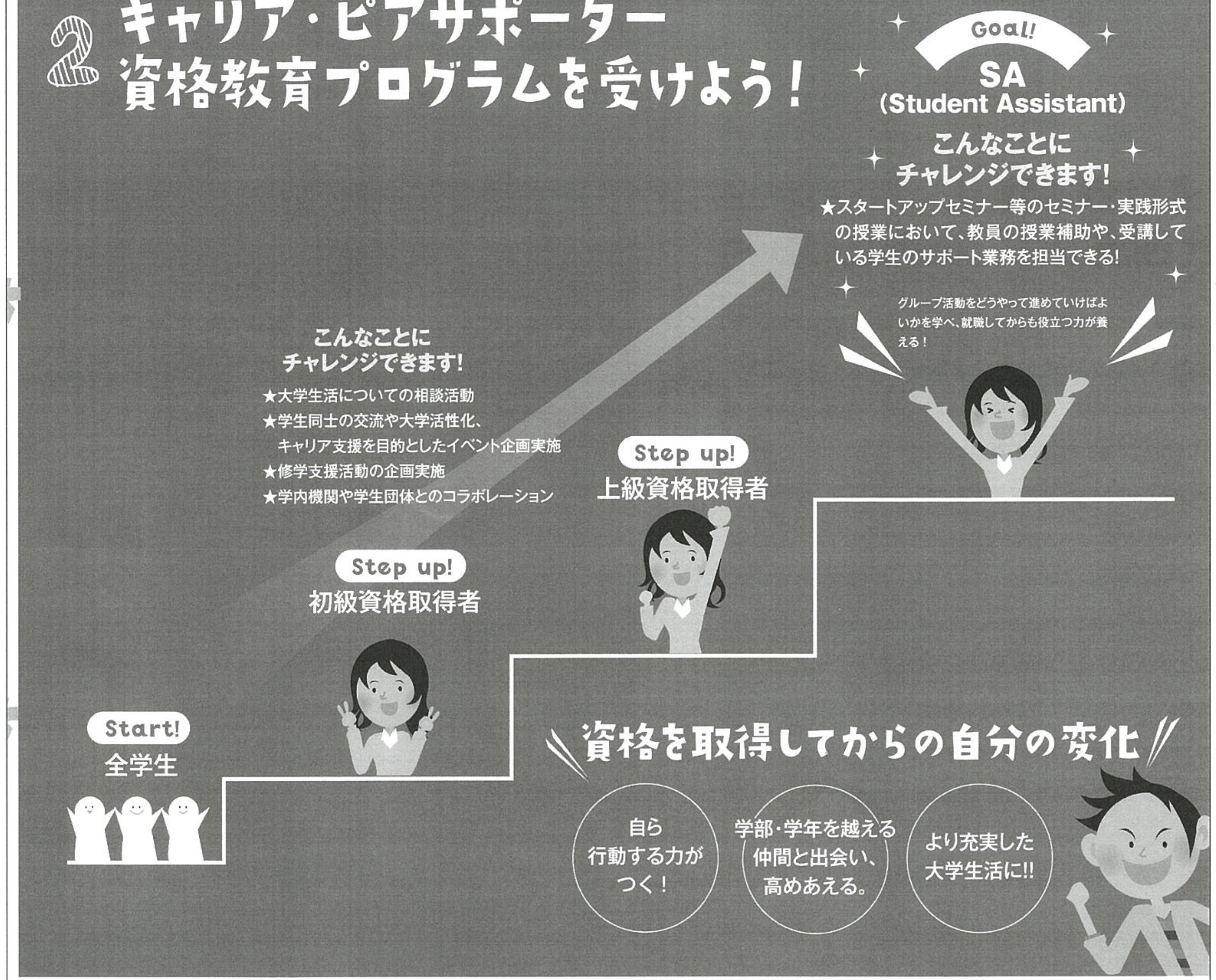
Advice: 上級資格に必要な選択科目の単位を1年後期に取ってしまおう。

2年前期
- ◆学習支援実践

Advice: 2年前期に、上級資格の必修科目の学習支援実践を履習しよう。

→ **上級資格認定!** 2年後期からSAに!

2 キャリア・ピアサポーター資格教育プログラムを受けよう！



例2

1年前期
◆スタートアップセミナー
◆キャリアプランニング入門

Advice
初級資格と上級資格に必要な単位が足りるように、1年後期に、キャリア科目をたくさん履修してみよう。

1年後期
◆学生生活支援実践
◆AIポジティブ思考法
◆社会連携型実践
◆企業研究入門

初級資格認定！

2年前期
◆学習支援実践

Advice
2年前期に、上級資格の必修科目の学習支援実践を履習しよう。

上級資格認定!
2年後期からSAに!

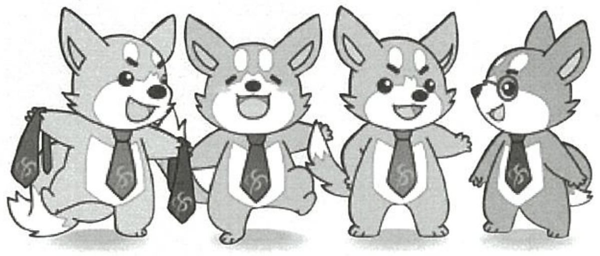
資格取得を通して社会人としての「実践力」を身につけよう!

大学までの勉強では知識の獲得が最も重視されますが、実際に社会に出てみれば、知識量だけでなく、獲得した**知識に基づいた実践のための応用力が求められる**ようになります。しかしながら、こうした能力を身につけるためには、ただ漫然と授業を受けるだけではなく、学生時代に様々な取り組みに主体的に参加することで、経験を通して積み重ねていかなければなりません。三重大学では、「生きる力」の養成や自身のキャリア形成につながる様々な授業科目を用意しています。また、所定の科目を履修した学生に対しては、**「キャリア・ピアサポーター初級資格」**、および**「キャリア・ピアサポーター上級資格」**を認定します。

「キャリア・ピアサポーター」資格を取得した学生は、授業補助等で教員のサポート役を担う「SA(Student Assistant)」をはじめ、学生が同じ学生を横の関係で支援する「なんでも相談活動」や、各種修学(授業)支援、アカデミックフェアやキャリアイベントといった各種イベント企画など、三重大学の活性化にもつながる様々な活動に参加してもらうことで、その力を発揮することができます。さらには、こうして学内の様々な現場を「職場」として体験することを通して、就職活動に不可欠な"対人関係能力"や"コミュニケーション能力"といった能力を身につけていくこともできるでしょう。

あなたも、「キャリア・ピアサポーター」資格を取得して、一緒に三重大学を盛り上げていきませんか。

そして、**あなた自身の「実践力」を伸ばしてい**きませんか。



※三重大学の学生支援オリジナルマスコットキャラクター
「三重大サポ太」